

令和4年度 授業計画 (シラバス)

科目名	総合演習	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	2 学年	単位(時間)	1 (30)	開講時期	2 年後期
担当教員： 専任教員 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/>					
看護師として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を想定し講義を行っている					
《科目目標》 看護を統合的にとらえ、臨床判断能力、自己学習力を培い、自らの課題を明らかにする。シミュレーションの経験を通して、学習者が振り返り、検証することによって専門的な知識・技術・態度の統合を図る。学習者同士の情報の共有・協力・調整する力を身につける。					
《成績評価の方法》 課題の評価表（ルーブリック）に基づき評価する					
《使用教材（教科書）及び参考図書》 動画による事例					
《授業外における学習方法》					
《履修に当たっての留意点》 事前学習を十分に行って授業に臨む					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	オリエンテーション			講義
		事例①場面の情報から気づいたこと			演習
2	2	事例①に必要な基礎知識（グループ内共有）			演習
3	2	事例①の看護について考える			演習
4	2	事例①の看護のまとめ			演習
5	2	事例②場面の情報から気づいたこと			演習
6	2	事例②に必要な基礎知識（グループ内共有）			演習
7	2	事例②の看護について考える			演習
8	2	事例②の看護のまとめ			演習
9	2	シミュレーション学習のオリエンテーション シミュレーション①の事前学習			演習
10	2	シミュレーション①（訪室時の気づきと関連した観察）			演習
11	2				
12	2	シミュレーション②の事前学習			演習
13	2	シミュレーション②（その場の状況から判断し看護実践する）			演習
14	2				
15	2	まとめ			講義

令和4年度 授業計画 (シラバス)

科目名	看護総合 I (看護倫理)	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	3 学年	単位 (時間)	1 (10/30)	開講時期	3 年後期
担当教員： 専任教員 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 看護師として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を含めた講義・演習を行っている。					
≪科目目標≫ 学習目標： 1. 看護における倫理の必要性について学ぶ。 2. 看護倫理に関する基本的知識を理解する。 3. 事例分析を通して、適切で倫理的な意思決定と行動について学ぶ。					
≪成績評価の方法≫ レポート「臨地実習における看護体験の中から、倫理的な問題について考える」					
≪使用教材 (教科書) 及び参考図書≫ ナーシンググラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 メディカ出版					
≪授業外における学習方法≫					
≪履修に当たっての留意点≫					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	授業ガイダンス 映像から見る看護倫理			講義・演習
2	2	患者権利宣言、倫理とは、倫理的行動とは、看護職の倫理綱領			講義・演習
3	2	看護倫理の実践とは 事例分析①			講義・演習
4	2	事例分析②			講義・演習
5	2	事例分析のまとめ			講義・演習

令和4年度 授業計画 (シラバス)

科目名	看護総合I (看護管理・医療安全)	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
対象学年	3 学年	単位(時間)	1 (20/30)	開講時期	3 年後期
担当教員： 非常勤講師					
<p>《科目目標》</p> <p>医療を取り巻く社会環境の変化と、そこにおける看護の位置づけを学ぶと共に、チーム医療及び多職種との協働の中でメンバーシップ、リーダーシップを理解する。</p> <p>また医療事故が起こる過程とそれを防止する対策、医療メデイエーションを理解する。</p>					
<p>《成績評価の方法》</p> <p>筆記試験</p>					
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>① ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理 メディカ出版</p> <p>② ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践② 医療安全 メディカ出版</p>					
《授業外における学習方法》					
《履修に当たっての留意点》					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	医療安全を学ぶ意義 事故防止の考え方など			講義
2	2	診療補助の事故防止について			講義
3	2	診療補助の事故防止について			講義
4	2	コンフリクト・マネジメント 医療メデイエーション			講義
5	2	医療安全とコミュニケーション			講義
6	2	看護とマネジメント 看護管理とは チーム医療について			講義
7	2	看護サービスマネジメント 看護サービス提供のしくみづくり			講義
8	2	人材のマネジメント 施設、物品のマネジメント ME, 薬剤			講義
9	2	組織とマネジメント リーダーシップ 組織と個人の関係づくり			講義
10	2	看護制度について 看護サービスと経済の仕組み、看護政策			講義

令和4年度 授業計画 (シラバス)

科目名	看護総合Ⅱ (国際・災害看護)	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	3 学年	単位(時間)	1 (15)	開講時期	3 年後期
担当教員： 専任教員 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 看護師として実務経験のある教員が、その経験を活かし実践的な事例を含めた講義・演習を行っている。					
<<科目目標>> 1. 国際的にどのような健康問題が課題になっているかを理解し、国際看護の基本理念を理解し、その方法を考える。 2. 災害が生活に及ぼす影響を理解し、災害直後から支援できる看護の基礎的知識を理解する。					
<<成績評価の方法>> 筆記試験・レポート					
<<使用教材(教科書)及び参考図書>> ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践③ 災害看護 メディカ出版					
<<授業外における学習方法>>					
<<履修に当たっての留意点>> 日頃起こっている災害から思うことや自身の考えを持ちながら授業に臨んでほしい					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	国際看護学と国際看護の定義・日本における国際看護			講義
2	2	グローバルゼーションと国際看護・日本の国際協力活動			講義・演習
3	2	災害看護の定義・災害と倫理			講義
4	2	災害の種類と被害・疾病の特徴・災害関連死・災害サイクル			講義
5	1	災害医療に関する国の政策・災害医療に関する法律			講義
6	2	配慮を必要とする人への支援と看護			講義
7	2	災害時に必要な医療・看護技術 (CSCATTT・トリアージ・代用品を利用した応急処置など) 実習中に災害が起こったらどうする！？ ～シミュレーション学習を通して～			講義・演習
8	2	被災者と支援者の心理の理解と援助			講義

令和4年度 授業計画 (シラバス)

科目名	看護研究演習	科目区分	専門分野	授業の方法	講義・演習
対象学年	3 学年	単位(時間)	1 (30)	開講時期	3 年全期
担当教員： 専任教員 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> 看護研究実績の経験をもとに、看護研究の意義から研究の発表までを教授している。					
<<科目目標>> 実践した看護の中から課題を見出し、ケーススタディとしてまとめる。この過程を通して、文献の活用、倫理的配慮、科学的・論理的なものの見方や考え方を学び、自己の看護観を深め、研究の基礎能力を身につける。					
<<成績評価の方法>> 論文・発表に対する看護研究演習評価表（ルーブリック）に基づいて評価する					
<<使用教材（教科書）及び参考図書>> はじめて学ぶケーススタディ 総合医学社					
<<授業外における学習方法>>					
<<履修に当たっての留意点>>					
回数	時間数	内 容			教授方法
1	2	1. 看護研究の意義と目的 2. 研究の種類及び方法			講義
2	2	3. 看護研究のプロセス 4. 研究計画書の作成			講義・演習
3	2	5. 文献検索について			講義・演習
4	2	論文・抄録の作成、発表、評価など			講義・演習
5	2	6. 研究の実際 1) ケーススタディの完成 2) 抄録の作成 3) スライドによる発表準備			講義・演習
6	2	4) ケーススタディの発表・講評			演習
7	2				
8	2				
9	2				
10	2				
11	2				
12	2				
13	2				
14	2				
15	2				